

社会資本総合整備計画 中間評価書

令和06年03月27日

計画の名称	鳥取県共生社会実現に向けた誰もが集える安全・安心な公園づくり（第2期）（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和05年度（4年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	鳥取県											
計画の目標	鳥取県立都市公園は、公園内の運動施設を活かした各種スポーツ大会・キャンプ誘致や、市内の宿泊施設と連携した学生・社会人の合宿誘致等を推進している一方で、各運動施設は広く県民に開放され、気軽な生涯スポーツ利用でも日常的に親しまれている。しかしながら開園後30年以上経過する等施設の旧式化は否めず、園内の地形的高低差から生じる移動時の問題や近年増大する災害への防災対策の強化もあり、安全・安心の確保は決して充分ではない。これらの課題を解決し、キャンプや競技の観戦を通じて更なるスポーツの裾野拡大と高齢者や障がい者を含む多様な公園利用を促進するとともに、災害時は地域防災計画における役割を確実に果たすため、誰もが園内のどこでも円滑に使用可能となるよう、障がい者・高齢者のスポーツ利用や観戦、災害時の緊急避難等にも配慮した既存公園施設の安全・安心化整備を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	670	A	670	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和2年	中間目標値 令和4年	最終目標値 令和5年
1	・公園施設（園路及び広場、駐車場、便所、運動施設、等）のバリアフリー化率を向上させることによって、誰もが集える公園として安全・安心を確保する。 円滑な公園利用を目的とした公園施設のバリアフリー化目標達成（%） 園路及び広場、駐車場、便所、運動施設、等のバリアフリー化実績を基に目標値を算定する。	50%	60%	60%
2	・公園施設の耐震化（既存不適格の解消含む）率を向上させることによって、地域防災計画における役割を果たせる公園として安全・安心を確保する。 安全・安心な緊急避難を目的とした公園施設の耐震化（既存不適格の解消含む）目標達成（%） 地域防災計画に位置付けられた指定緊急避難に供する公園施設の耐震化実績を基に目標値を算定する。	50%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	鳥取県	直接	鳥取県	-	-	都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	既存公園施設バリアフリー化及び耐震化	鳥取市						670	-	
												小計						670	
												合計						670	

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制
鳥取県において実施

中間評価の実施時期
事業完了後

公表の方法
鳥取県ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

公園施設（園路及び広場、駐車場、便所等）のバリアフリー化率を向上させることにより、利用者の安全・安心が図られた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

引き続き既存公園施設のバリアフリー化の整備を推進し、公園利用者の利便性向上に努めていきたい。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	公園施設（園路及び広場、駐車場、場所、運動施設、等）のバリアフリー化率		
	中間 目標値	60%	施設配置の検討、資材調達等により整備の進捗が計画時と差が生じたため。
	中間 実績値	56%	
公園施設の耐震化（既存不適格の解消を含む）率			
2	中間 目標値	50%	
	中間 実績値	50%	

(参考様式3) 参考図面

